

(平成 29 年 4 月試験研究業務月報)

タスクチーム活動テーマ：ナスにおけるハダニ類の総合的管理

情 報

雑草の焼却によるハダニ類の発生へ及ぼす影響を調査

京都乙訓地域の特産物であるナスでは、落葉や樹勢低下を引き起こすハダニ類の薬剤感受性が低下しており、農薬だけに頼らない防除体系が望まれています。

このため、農林センターでは J A 京都中央及び京都乙訓普及センターとタスクチームを組み、京都乙訓地域の現地モデルほ場で、ハダニ類の総合的管理の実証活動を行っています。

今回、ナス定植前に、物理的防除の一つとして、ハダニ類の生息場所となる畦の雑草をバーナーで焼却処理しました。

今後、ナスへのハダニの発生状況を調査するとともに、農薬の薬剤感受性を調査し、その結果を生産者・関係機関に情報提供します。さらに、ハダニ類の天敵を温存するとされているオクラなどの作物栽培を組合わせた総合管理の効果を調査していく予定です。



バーナー焼却処理した畦畔の様子
処理時間は約 90 分/10 a



ハダニ類調査の様子